

東日本大震災から先週の土曜日の3月11日で12年目を迎えました。大きな地震や津波、原発事故など、様々なことを含む災害により亡くなった人は2万2千人を超えました。地震が起きた午後2時46分には各地で多くの人が犠牲者を悼みました。

ところで、第5回のワールド・ベースボール・クラシック(WBC)では、たくさんの選手が日本の野球の魅力を発信してくれています。その中の一人、佐々木朗希投手は小学校3年生の時にこの地震を経験し、父親と祖父母を地震で亡くしています。佐々木投手は大船渡高校の時に時速163kmの球を投げ、一躍有名になりました。その後、ロッテに入団し、去年はプロ野球史上最年少となる20歳5か月で「相手の攻撃を全てアウトにする完全試合」を達成しました。震災のことを話すのはつらいことだと思いますが、佐々木選手は「震災を風化(みんなに忘れて欲しくない)させたくない。これからは発信していかなければならないと感じた。」、2年前には「10年前の僕はたくさんの人から支えられ、勇気や希望をもらいながら頑張ることしかできなかったが、今は違う。勇気や希望を与える立場にある。活躍してそういうことができたら」と語っています。無事、活躍する姿を見せてくれた佐々木選手には引き続き、がんばってもらいたいですね。

話が変わりますが、少し耳の痛いお話があります。先日商店街のお店の人とお話をしました。帰り道に、お店のものを触る人がいるらしいです。さらに、お店のものを、取っていく人がいて、とても困っているということです。お店の人たちは、品物を売ること、生活をしています。商品を作るのにもお金がかかります。一つ品物を取られてしまうと、何個も売らないと、儲けができません。警察に言おうか迷ったそうですが、大きな事にしたくないということで、先生にお話をしにきてくださったそうです。やってしまった人は、今日、ここでお話をしているので、このようなことは二度としないでくださいね。